

2021年3月19日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、高松コンストラクショングループが発行する 「サステナビリティ・リンク・グリーンボンド」への投資を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島 直樹）は、ESG投融資の一環として、高松コンストラクショングループが発行する「サステナビリティ・リンク・グリーンボンド」（以下「本債券」）への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

本債券は、SDGsが掲げる17のゴールに対応した売上高を目標値（サステナビリティパフォーマンスターゲット、以下「SPTs」）に定め、発行条件をSPTsの達成状況に連動させるとともに、調達資金を全額グリーンプロジェクトに充当する国内初^(*)のSDGs債です。

<概要>

発行体：高松コンストラクショングループ

名称：サステナビリティ・リンク・グリーンボンド（JCR格付：A-）

※ 国際資本市場協会（ICMA）公表の「グリーンボンド原則」および
環境省「グリーンボンドガイドライン」に準拠したグリーンボンド

発行総額：100億円

償還期間：5年

資金使途：環境性能に優れた新本社ビル新築工事の建築資金

SPTs：グループ会社全体のSDGs貢献売上高が将来4か年度累計で3,911億円以上

プレミアム：SPTs未達の場合、社債の金額100円につき0.5円のプレミアム

当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」^(*)に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。

太陽生命は、これからも責任ある機関投資家として、持続可能な社会の形成に貢献できるよう取組みを推進してまいります。

以上

^(*)高松コンストラクショングループ HP より

(URL:https://www.takamatsu-cg.co.jp/newstopping/irnews/2021/20210312_1530_J.html)

^(*)責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。

